

国土交通省
鉄道局長 藤井直樹 殿

要 望 書

平成30年4月

北陸新幹線敦賀開業促進期成同盟会
北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会

北陸新幹線については、国土軸の複軸化により国土の脆弱性を克服し、国土強靱化を強力に進める国家施策であります。

また、観光立国に向けて、国内の快適な移動を実現する地方創生回廊の構築に寄与するインフラ整備であります。

沿線自治体としましては、新幹線開業の経済波及効果をより高め、地方創生に着実に結びつけていくためにも、一日も早い大阪までの全線開業と、駅周辺地域が連携し各地域の魅力を向上するとともに、駅の広域的な拠点機能の強化が、極めて重要と考えております。

つきましては、次の項目について、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1 一日も早い大阪までの全線開業について

敦賀・大阪間については、詳細なルートの調査や環境影響評価を速やかに進めるとともに、国費の増額や貸付料の算定期間延長などあらゆる手法を駆使して建設財源を確保し、敦賀開業後の切れ目のない整備により、一日も早い大阪までの全線開業を実現すること。

2 敦賀駅の広域的な拠点機能の強化について

敦賀駅は、北陸新幹線や在来特急列車の発着点となることから、広域観光の出発点となる新幹線駅前広場（東口）側についても、利用者の利便性に配慮し、エスカレータを整備すること。

併せて、在来線改札内に嶺南地域全体をはじめとした広域的な観光案内ブースを設置できるよう配慮すること。

平成30年4月11日

北陸新幹線敦賀開業促進期成同盟会

会長（敦賀市長） 淵上隆信

北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会

会長（小浜市長） 松崎晃治